北潟っ子通信

Ｈ２７.１０．２９　NO.23

北潟っ子３つの誓い
一つ、私たちは、我がまち北潟に誇りを持ち、まちのためによいことをします。
一つ、私たちは、家族のことを思い、家族のために役立つことをします。
一つ、私たちは、自分がよいと思うことをねばり強くがんばります。

おなか元気教室

２３日（金）の５限目にヤクルトの事業推進グループの塩谷さんにおいでいただき、おなか元気教室を行いました。ここでは、消化管の働き、うんちの話、おなかに住んでいる菌の話を聞きました。まず、胃・小腸・大腸の働きを教えていただきました。次に、うんちはおなかからのお便りと考えて、うんちの色や形をテェックして体の状態を確認することが大事だということを教えていただきました。最後におなかの中に住んでいる菌について教えていただきました。おなかを元気にするためには、「早寝・早起き・朝ご飯・朝うんち」を心がけることが大事だそうです。

みなさんも「早寝・早起き・朝ご飯・朝うんち」を心がけ、おなかを元気にしましょう。そして、毎日元気に過ごしましょう。

消化管は一本の管です。

大腸の長さは約1.5m。１年生の子の背より長いです

小腸の長さは、６メートルから７メートル。一年生が全員で持ってみました。こんなに長いものが、私たちの体の中に入っているのです。

小腸の内側のひだには、たくさんの突き出た物あって、ここから養分を取り入れます。

保護者の皆様もたくさん参加していただき、ありがとうございました。

砂防出前授業

２５日（日）には、三国土木事務所からお二人の方を招いて砂防出前授業を行いました。ここでは、土砂災害と津波のことを勉強しました。土石流やがけ崩れ、地すべりの映像には思わず悲鳴が上がりました。北潟地区にも土砂災害のおそれがあるところがあるそうです。その場所は、あわら市のハザードマップで確かめるとよいことも教えていただきました。このような災害を人間の力で防ぐのは限界がありますが、災害から逃れるために次の３つが大事だということです。

①避難するための準備をしておく。　②危険な場所を知っておく。
③避難する場所を調べておく。

ご家族で、もし災害が起きたらどう行動するとよいのかを日頃から話し合っておいてください。自分の命を自分で守るために、常日頃から十分な準備をしておきたいですね。

どしゃくずれのビデオをみてこわいなとおもった。おうちにかえって、さいがいがおこったらどうしたらいいかはなしあったよ。　１年

ゴゴゴーという音がしたらひなんのよういをしてひなん場所に行くじゅんびをしておこうと思います。３年

土砂や津波の時速がわかってこわいなと思いました。家では避難するための準備はしていないので、準備をしたいと思いました。いつ災害が起こるかわからないので、常に避難に備えて、家族で話し合うなどしておきたいです。　６年